

平成30年度 国立江田島青少年交流の家教育事業

親子で楽しむ 忍たま修行体験！実施報告書

【趣 旨】 遊びで身につく運動プログラムに親子で参加することによって、交流を深め、運動やスポーツへの興味・関心を高めるとともに、体力の向上や運動習慣の定着のきっかけとする。

【主 催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家

【期 日】 平成30年11月11日（日）

【会 場】 国立江田島青少年交流の家

【対 象】 江田島市在住の4歳～6歳までの幼児及びその保護者

【参加者数】 ○幼児・・・・・・・・・・25名

○保護者・・・・・・・・・・24名

【協 力】 安田女子大学教育学部児童教育学科 西川ひろ子ゼミ

【企画・運営のポイント】

- (1) 普及啓発活動として、江田島市内の保育園，認定こども園で出前事業を行った。また，継続して取り組めるよう，くもの巣くぐり用の輪ゴムを各園に進呈した。
- (2) 幼児教育の専門家に指導・助言を受ける中で，プログラムを組み上げていった。
- (3) 前年度の取組やアンケート結果から体力傾向を知り，それを参考に運動領域をピックアップしていった。
- (4) 「なりきり感」につながる忍者の衣装を今回も取り入れると同時に，今年度の「自然を活用した幼児期の運動プログラム」というタイトルを意識するようにした。
- (5) ウォーミングアップにおいて親子で触れ合える体操メニューを取り入れた。

【活動の実際】

(1) 当日の日程・内容

時 間	内 容
9：30～10：00	受付
10：00～10：15	「まじめ忍者」のダンスでウォーミングアップ
10：20～10：50	忍たま修行 ・忍者サーキットに挑戦 ・江田島の自然に触れよう！
11：00～11：20	合戦（集団遊び）
11：30～11：40	まとめ・ふり返り
12：00	解散

・導入，ウォーミングアップ



導入では忍者に変身し，親子体操をしたり，「まじめ忍者」のダンスを踊ったりすることで心と体をほぐしていった。

・忍者サーキット



屋外には，「がけ登り（のぼる，はう）」，「松ぼっくり的あて（なげる，あてる）」，「くもの巣くぐり（くぐる）」，「けん・けん・ぱ（とぶ・たつ）」，「丸太わたり（たつ・のる・わたる・あるく・とぶ）」，「ターザンロープ（つかむ・ぶらさがる）」，「新聞紙ダッシュ（はしる）」の各ブースを設置し，自然の中で修行体験ができるようにした。

・忍者合戦～まとめ



個人修行の後は，「集団遊び」ということで，「忍者缶けり」を行った。

最後は免許皆伝の認定証を授与した。

(2) 出前事業（実施日程と活動の様子）

- ・ 7月23日（月）・・・・・・・・認定こども園おおがき
- ・ 7月24日（火）・・・・・・・・切串保育園
- ・ 8月22日（水）・・・・・・・・中町保育園
- ・ 8月27日（月）・・・・・・・・三高保育園
- ・ 認定こども園のうみ，認定こども園えたじまは豪雨災害の影響で実施できず。



【成果】

- SEAプロジェクトやフェスティバル江田島，研修会での教育事業への参加（「絵本大好きフェスティバル」，「ひろみちお兄さんと親子体操 in 江田島」）など，各園との関係も深まってきている。今後も連携を大切にしていくことで，幼児プログラムの普及に努めたい。
- 幼児25名，保護者24名，合計49名の参加があった。参加者のアンケートでの満足度（肯定的評価：満足度4または3）は100%であった。日程にゆとりを持たせたのが良かった。
- 「年齢が近く，打ち解けやすい」というだけでなく，野山を走り回る参加者の動きなどの幼児の安全管理を行う上で，ボランティアの参画は有益であった。
- 忍者衣装は昨年度と同様に好評で，着ることにより気分が高揚した状態でプログラムに入っていくことができていた。
- 「ターザンロープ」は好評で，早く回って帰ってきた家族が再度チャレンジする姿が見られた。

【今後の課題】

- 雨天の場合，目的を達成するため，どのような活動が考えられるか，他の施設とも情報交換する必要がある。
- 各園の先生方との関係を今後とも大切にいき，普及啓発に努めていきたい。